

健康づくりや熱中症対策で連携

23区初！杉並区と大塚製薬が協定を締結（事前案内）

4月12日午後2時、杉並区役所で区と大塚製薬株式会社との包括連携協定の締結式を執り行います。この協定は、区と大塚製薬が双方の資源を活かし、区民の健康づくりと災害対策等に連携して取り組むもので、23区では初めての締結となります。

今後、熱中症対策や災害備蓄品の確保など、多方面にわたる連携について具体的な協議を行っていきます。

大塚製薬は、健康・自然環境・地域社会をキーワードに社会貢献活動に取り組んでいる企業です。これまでに、すでに39の都道府県と協定を締結し大きな成果をあげている実績もあり、杉並区にとっても有益な協定となることが期待されます。

【協定の目的】

区や大塚製薬のそれぞれが培ってきた経験や人的資源を活かし、区民の健康づくり及び災害対策等に取り組みます。こうした取り組みを通して、区民の健康増進や区民サービスの向上を目的とします。

【協定の内容】

- ①健康づくりに関する事
- ②熱中症対策に関する事
- ③食育の推進に関する事
- ④災害対策に関する事
- ⑤スポーツ振興と青少年の育成に関する事
- ⑥その他、区民サービスの向上・地域の活性化に関する事

【協定締結式】

- ・日時 4月12日（水）14：00～15：00
- ・場所 杉並区役所東棟4階 区長室
- ・主な出席者
区側：田中良区長 大塚製薬：渡壁勝巳東京支店支店長

【問い合わせ先】

政策経営部企画課 3312-2111 内線1411